

平成 27 年 8 月 31 日

雲南市長 速 水 雄 一 様

新「国民宿舎清嵐荘」管理運営基本計画  
策定支援業務受託候補者選定委員会  
委員長 飯 野 公 央

新「国民宿舎清嵐荘」管理運営基本計画策定支援業務委託に係る  
プロポーザル審査結果について

新「国民宿舎清嵐荘」管理運営基本計画策定支援業務委託に係るプロポーザルについて、本選定委員会は、2 者の企画提案者から提出された企画提案書について、平成 27 年 8 月 19 日に実施したプレゼンテーション及びヒアリングにより企画提案の内容を正確に把握し、厳正に審査を行った結果、最優秀企画提案者を下記のとおり選定したので報告します。

記

最優秀企画提案者 株式会社 休暇村サービス

新「国民宿舎清嵐荘」管理運営基本計画策定支援業務  
公募型プロポーザルの審査結果及び審査講評について

雲南市では、平成27年3月に中国横断自動車道尾道松江線が全線開通し、山陽、四国方面をはじめとする全国的高速道路網につながり、さらなる交流の促進が期待されています。

特に観光分野においては、観光入込客数の増加など大きな効果が見られる一方、立ち寄りのような利用が多く、市内宿泊客数の増大、経済波及効果をもたらす滞在・周遊型観光の促進が課題となっています。

今後改修整備を予定している新たな「国民宿舎清嵐荘」の管理運営基本計画は、「『国民宿舎清嵐荘』改築整備等に関する基本計画」に掲げる「雲南市全体の観光振興中核施設」、「『出雲湯村温泉郷』のブランド構築リーディング事業」としての基本理念に基づき、施設の役割や望ましい姿を見据え、新「国民宿舎清嵐荘」の管理運営に求められる重要な視点と基本的な考え方を明確にするために策定するものです。

当選定委員会は、この管理運営基本計画の策定支援を委託するのにふさわしい事業者を審査するため、新「国民宿舎清嵐荘」管理運営基本計画策定支援業務プロポーザル実施要領（評価基準）に基づき、企画提案書等を厳正に審査した結果、下記のとおり最優秀企画提案者を選定しましたので、次のとおり講評します。

## 1. 審査経過

新「国民宿舎清嵐荘」管理運営基本計画策定支援業務の受託者を選定するため、平成27年7月3日、新「国民宿舎清嵐荘」管理運営計画策定支援業務受託候補者選定委員会（以下「選定委員会」という。）が設置されました。

本プロポーザルを実施するにあたり、参加表明事業者から提出された企画提案書等を審査し、計3回の選定委員会を開催、厳正かつ公正な審査を実施しました。

## 2. 審査結果及び審査講評

### (1) 審査結果

最優秀企画提案者 株式会社 休暇村サービス

| 評価項目            | 最優秀企画提案者<br>(株式会社 休暇村サービス) | 企画提案者<br>(次点) |
|-----------------|----------------------------|---------------|
| 基本的な考え方         | 120                        | 118           |
| 管理運営方針の設定       | 240                        | 204           |
| 施設管理計画の策定       | 224                        | 176           |
| 広報宣伝計画の策定       | 116                        | 116           |
| 収支計画の策定         | 116                        | 108           |
| 施設への要件提起        | 120                        | 112           |
| 業務実施体制及び類似業務の実績 | 256                        | 192           |
| 合計(α)           | 1192                       | 1026          |
| 平均点(α÷7)        | 170.3                      | 146.6         |

## (2) 審査講評

本プロポーザルに対し、全国から2者の参加表明がありました。選定委員会では、企画提案の内容、業務体制、業務実績等に関する書類審査と、書類だけでは判断が難しいことならについては公開の場でのプレゼンテーションとヒアリングにより内容を確認し、最終的な選考を行いました。その結果、選考委員会全員一致で評価点の最も高い者を「最優秀企画提案者」として選定いたしました。

総評としましては、2者の企画提案とも、それぞれの強みを生かした視点や考え方が的確に整理されており、本プロポーザルの審査にふさわしい内容となっていました。

最優秀企画提案者として選定された株式会社 休暇村サービスの提案は、各評価項目において総じて高評価であり、豊富な経験と実績に裏打ちされた管理運営及び施設管理方針の適格性、類似業務の実績が他者より優れているものと高く評価し、新「国民宿舎清嵐荘」管理運営基本計画の策定支援にふさわしい力量をもった事業者と判断いたしました。

特に収支計画の策定、施設への要件提起（特に人の動線や施設配置のあり方についての提案）など、宿泊施設の建設に当たり求められる専門的見地からの的確な改善提案がなされていました。このように、実際に類似施設の運営を数多く手掛けたことによる知見の蓄積が評価のポイントとなりました。

次に、次点となりました企画提案者の提案内容につきましては、地域の特性が良く理解されており、その特徴を活かした全市的な取り組みの具体的提案は、高く評価されました。この点では最優秀企画提案者にも今後そうした姿勢と努力が求められるものですが、類似業務の実績や専門性について相対的に最優秀企画提案者の方が高く評価される結果となり、最優秀提案者としての選定には至りませんでした。

最後に、本公募型プロポーザルに参加された企画提案者におかれましては、多大なるご努力と熱意をもって取り組んでいただきましたことに対し、心より敬意を表しますとともに、新たな国民宿舎清嵐荘が、より良い施設として多くの市民そして利用者の皆様から祝福されますよう祈念し、講評といたします。

平成 27 年 8 月 31 日

新「国民宿舎清嵐荘」管理運営計画策定支援業務受託候補者選定委員会

|      |                           |
|------|---------------------------|
| 委員長  | 飯野 公 央（島根大学法文学部 法経学科 准教授） |
| 副委員長 | 吉原 一 文（市民代表）              |
| 委員   | 安部 且 彦（税理士、行政書士）          |
| 委員   | 嶋 啓 祐（雲南市PR大使）            |
| 委員   | 野々村 三重子（市民代表）             |
| 委員   | 木村 正 広（雲南市木次総合センター所長）     |
| 委員   | 小川 修 治（雲南市吉田総合センター所長）     |